



2018年12月期 第3四半期 決算説明会資料

荏原 (6361)

2018年11月13日

Looking ahead,
going beyond expectations

Ahead > *Beyond*

株式会社 荏原製作所

1. 決算概要

2018年12月期第3四半期決算 サマリー



(単位：億円)

	＜参考値＞ 2017年12月期※ 第3四半期	2018年12月期 第3四半期	増減
受注高	3,722	4,431	+ 709
売上高	3,679	3,680	+ 0
営業利益	276 (7.5%)	204 (5.6%)	△ 72
経常利益	269 (7.3%)	199 (5.4%)	△ 69
親会社株主に帰属する 四半期純利益	193 (5.3%)	112 (3.0%)	△ 81

()内は売上高に対する比率

為替レート
(平均)

1ドル = 112.4円

1ドル = 111.4円

※本資料上で「＜参考値＞2017年12月期」として示す数値は2018年12月期の業績を同一期間と比較するために2017年12月期（変則9か月決算）の実績を2017年1月から12月に組み替えた数値（非監査）です。また、「＜参考値＞2017年12月期第3四半期」の期間は2017年1月から9月です。
 ※※本資料において「1Q」は3か月累計期間、「2Q」は6か月累計期間、「3Q」は9か月累計期間、「通期」は12か月累計期間を示しています。
 またこのページ以降、特別な記載がない限り、数値の単位を『億円』で表示しています。

1. 決算概要

2018年12月期第3四半期決算 事業セグメント別



	受注高			売上高			営業利益		
	〈参考値〉 2017年 12月期 第3四半期	2018年 12月期 第3四半期	増減	〈参考値〉 2017年 12月期 第3四半期	2018年 12月期 第3四半期	増減	〈参考値〉 2017年 12月期 第3四半期	2018年 12月期 第3四半期	増減
風水力事業	2,268	2,442	+ 173	2,175	2,250	+ 75	100 (4.6%)	33 (1.5%)	△ 66
環境プラント 事業	498	933	+ 434	499	435	△ 63	37 (7.6%)	34 (7.9%)	△ 3
精密・電子 事業	943	1,043	+ 100	992	981	△ 10	135 (13.7%)	134 (13.7%)	△ 1
その他 調整	12	12	+ 0	12	12	+ 0	2 (21.0%)	2 (18.4%)	△ 0
合計	3,722	4,431	+ 709	3,679	3,680	+ 0	276 (7.5%)	204 (5.6%)	△ 72

()内は売上高に対する比率

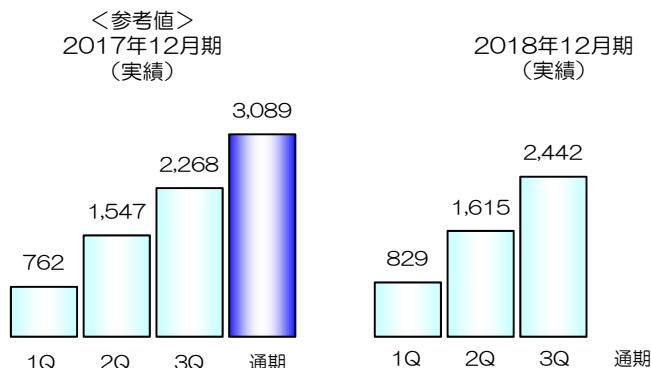
1. 決算概要

2018年12月期第3四半期決算 事業セグメント別

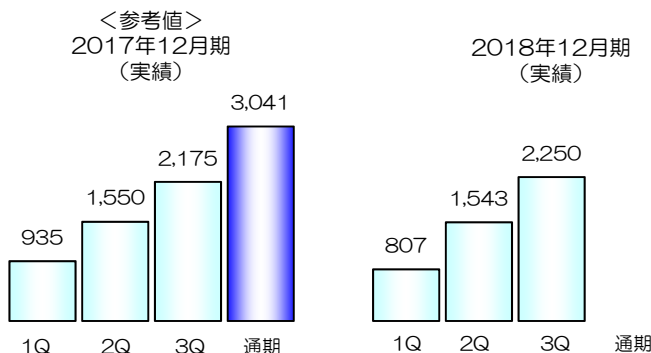


風水力事業

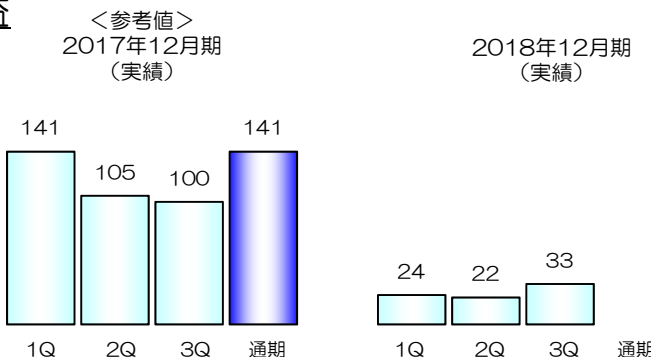
受注高



売上高



営業利益



【受注高】

✓ コンプレッサ・タービン事業で製品を中心に増加

【売上高】

✓ コンプレッサ・タービン事業、ポンプ事業で増加

✓ サービス&サポート (S&S) の売上高が減少

S&S比率	<参考値>	
	2017年12月期3Q	2018年12月期3Q
風水力全体	36.4%	33.1%
ポンプ事業	25.5%	24.5%
コンプレッサ・タービン事業	59.8%	50.2%

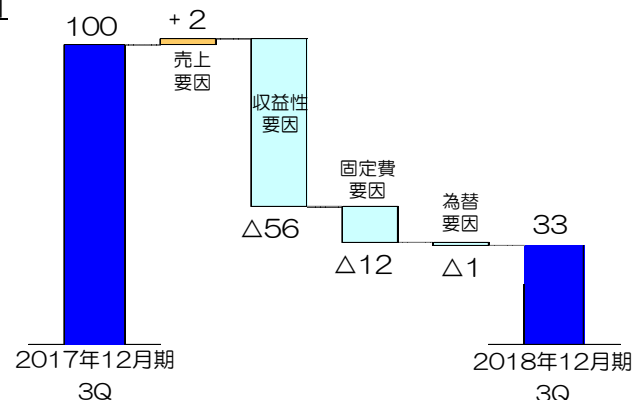
【営業利益】

✓ S&S売上の構成比が減少 (-)

✓ コンプレッサ・タービン事業で低採算案件の受注が一部あり、損失引当金が増加 (-)

✓ 人件費を中心に固定費が増加 (-)

増減要因分析



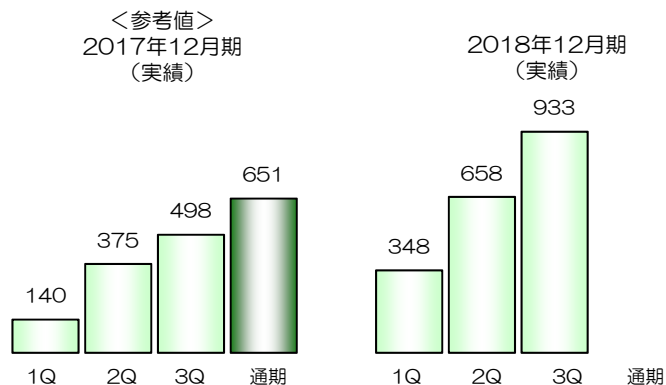
1. 決算概要

2018年12月期第3四半期決算 事業セグメント別



環境プラント事業

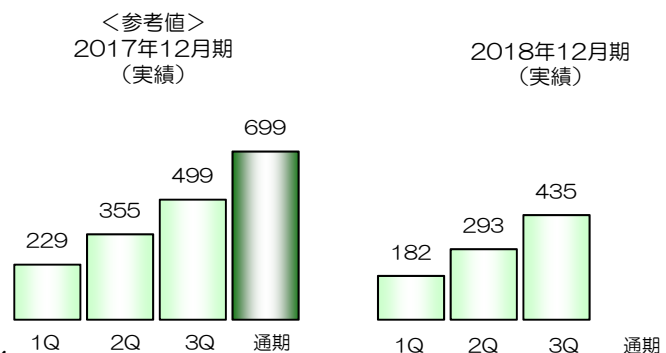
受注高



【受注高】

✓ 高い水準で着地

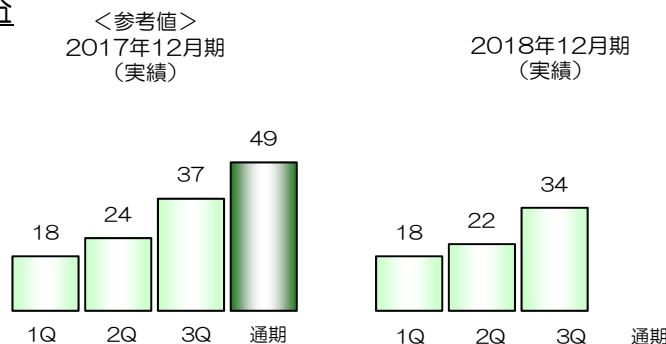
売上高



【売上高】

✓ EPCを中心に売上が減少

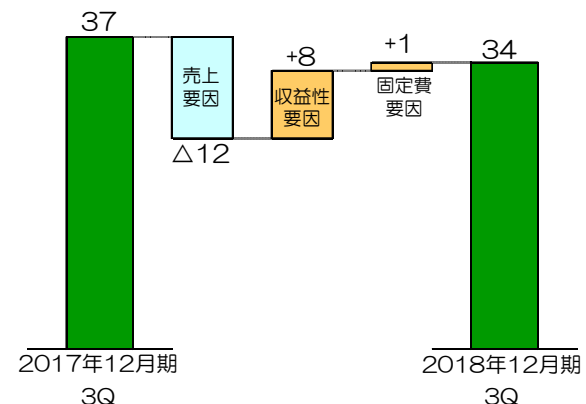
営業利益



【営業利益】

- ✓ 減収の影響 (-)
- ✓ オペレーション&メンテナンスの構成比が増加 (+)
- ✓ 中国の製造子会社において一部事業撤退に伴う損失を計上 (-)

増減要因分析



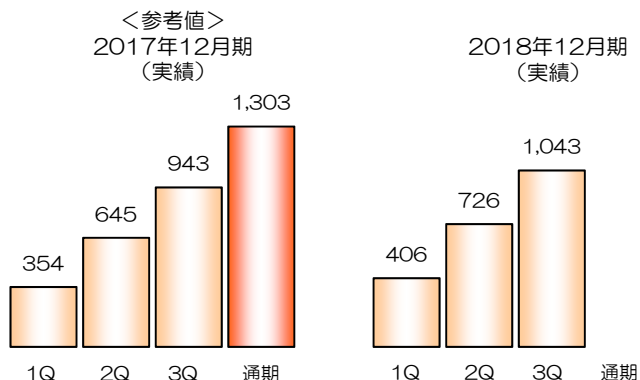
1. 決算概要

2018年12月期第3四半期決算 事業セグメント別



精密・電子事業

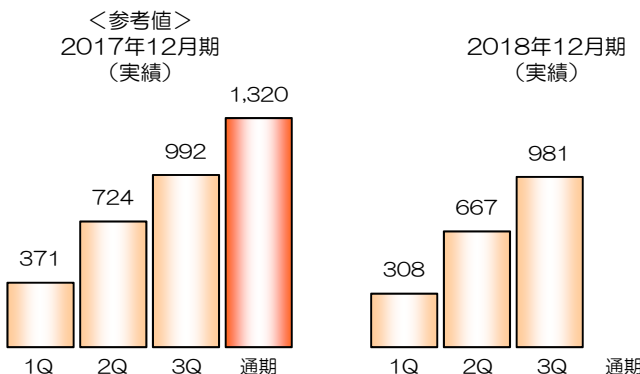
受注高



【受注高】

- ✓ 半導体市場の設備投資はメモリ向けを中心に堅調
- ✓ CMP事業、コンポーネント事業共に増加

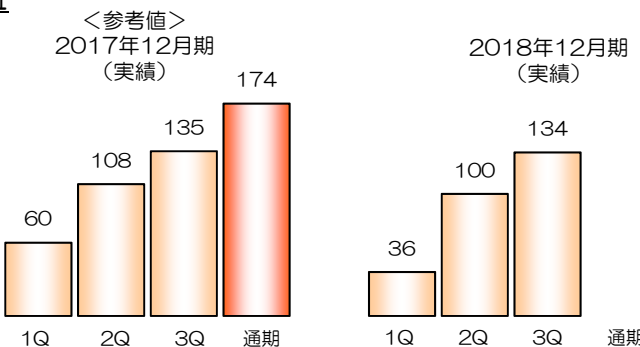
売上高



【売上高】

- ✓ コンポーネント事業で増加
- ✓ CMP事業は減少したが、水準としては高いレベル

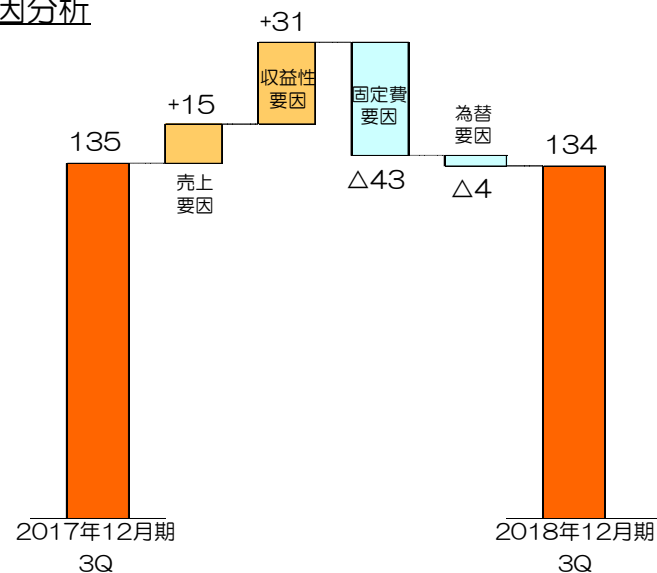
営業利益



【営業利益】

- ✓ 人件費・研究開発費を中心に固定費が増加 (-)

増減要因分析



2. 今期の見通しと 経営戦略

2018年12月期の業績見通し



	<参考値> 2017年 12月期	2018年12月期		増減	
	実績	見通し(8月)	見通し(最新)	対見通し(8月)比	対前期比
受注高	5,060	5,550	5,710	+ 160	+ 649
売上高	5,078	5,050	5,080	+ 30	+ 1
営業利益	366 (7.2%)	370 (7.3%)	320 (6.3%)	△ 50	△ 46
経常利益	354 (7.0%)	360 (7.1%)	310 (6.1%)	△ 50	△ 44
親会社株主に 帰属する 当期純利益	227 (4.5%)	220 (4.4%)	170 (3.3%)	△ 50	△ 57

<参考値>
 為替レート 1ドル = 112円 (平均) 1ドル = 110円 (想定) 1ドル = 110円 (想定)

()内は売上高に対する比率

2. 今期の見通しと 経営戦略

2018年12月期の業績見通し



		<参考値> 2017年12月期	2018年12月期		増減	
		実績	見通し(8月)	見通し(最新)	対見通し(8月)比	対前期比
風水力事業	受注高	3,089	3,240	3,290	+ 50	+ 200
	売上高	3,041	3,140	3,160	+ 20	+ 118
	営業利益	141 (4.7%)	135 (4.3%)	100 (3.2%)	△ 35	△ 41
環境プラント 事業	受注高	651	900	1,000	+ 100	+ 348
	売上高	699	600	600	-	△ 99
	営業利益	49 (7.1%)	60 (10.0%)	50 (8.3%)	△ 10	+ 0
精密・電子 事業	受注高	1,303	1,400	1,400	-	+ 96
	売上高	1,320	1,300	1,300	-	△ 20
	営業利益	174 (13.2%)	170 (13.1%)	170 (13.1%)	-	△ 4
その他 調整	受注高	16	10	20	+ 10	+ 3
	売上高	16	10	20	+ 10	+ 3
	営業利益	1 (8.0%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)	△ 5	△ 1
合計	受注高	5,060	5,550	5,710	+ 160	+ 649
	売上高	5,078	5,050	5,080	+ 30	+ 1
	営業利益	366 (7.2%)	370 (7.3%)	320 (6.3%)	△ 50	△ 46

() 内は売上高に対する比率

2. 今期の見通しと 経営戦略

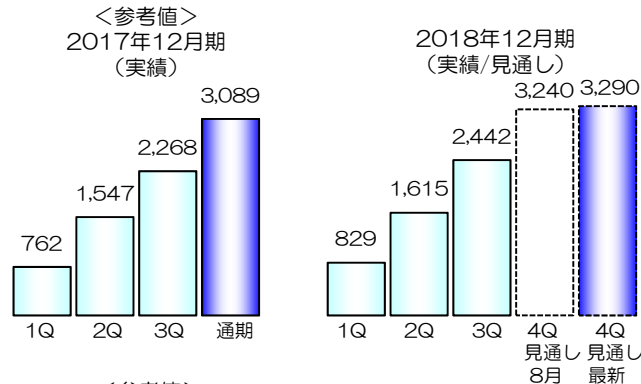
2018年12月期決算見通し 事業セグメント別



風水力事業

<見通し(8月)からの変更> 受注高・売上高・営業利益

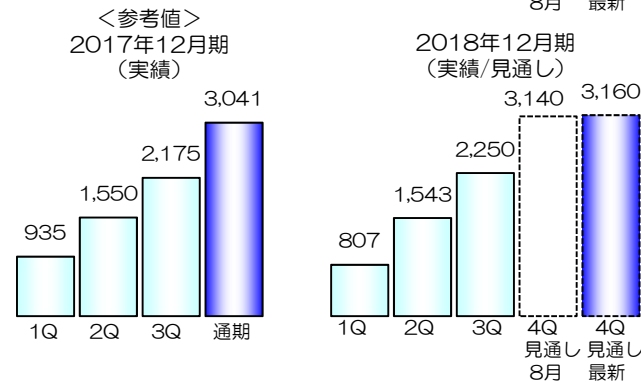
受注高



【受注高・売上高】

- ✓ コンプレッサ・タービン事業の顧客の設備投資は順調に回復しており、計画を上方修正。
- ✓ ポンプ事業はカスタムポンプでS&S案件の期ずれにより計画を下方修正

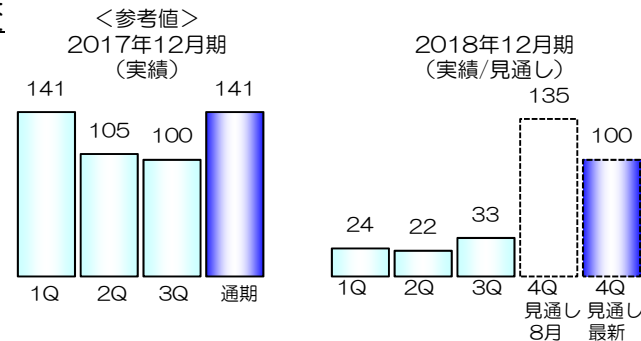
売上高



【営業利益】

- ✓ カスタムポンプのS&Sで売上の期ずれと収益性の悪化により計画を下方修正
- ✓ コンプレッサ・タービン事業の一部低採算案件受注に伴う損失引当金の増加により計画を下方修正
- ✓ 冷熱事業で収益性が悪化し計画を下方修正

営業利益



2. 今期の見通しと 経営戦略

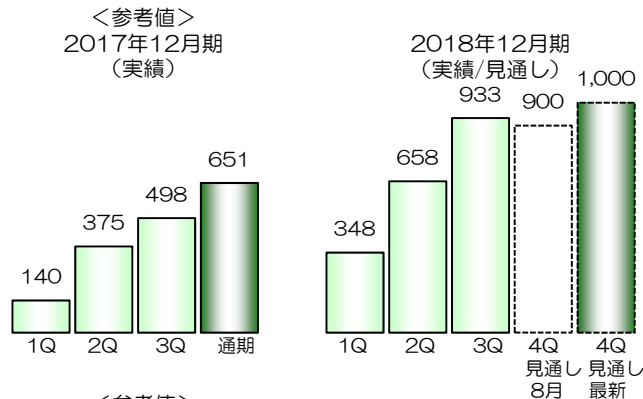
2018年12月期決算見通し 事業セグメント別



環境プラント事業

<見通し(8月)からの変更> 受注高・営業利益

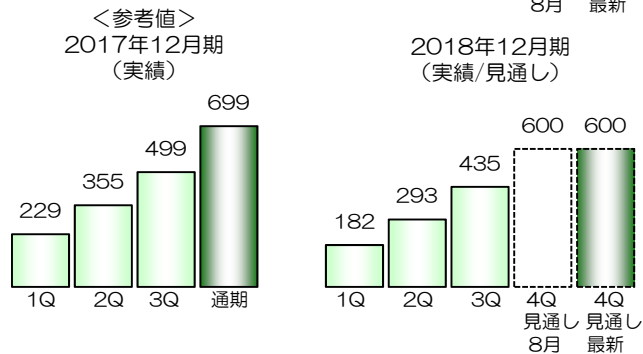
受注高



【受注高】

- ✓ 好調な受注の進捗を受け、計画を上方修正

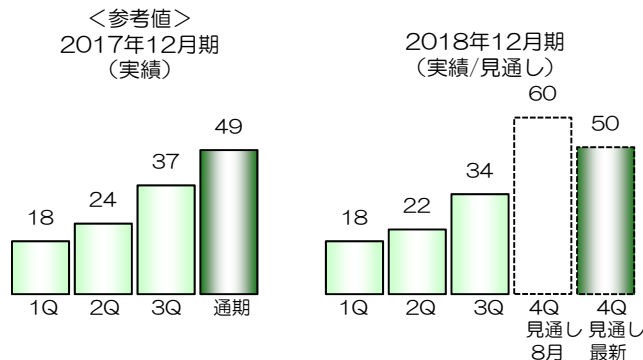
売上高



【売上高】

- ✓ 計画通り着地する見込み

営業利益



【営業利益】

- ✓ 主に中国の製造子会社における一部事業撤退に伴う損失の計上により、計画を下方修正

2. 今期の見通しと 経営戦略

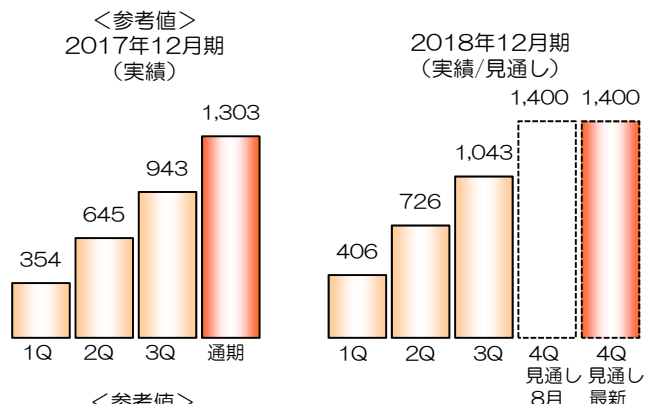
2018年12月期決算見通し 事業セグメント別



精密・電子事業

<見通し(8月)からの変更> 受注高・売上高 (セグメント内の内訳)

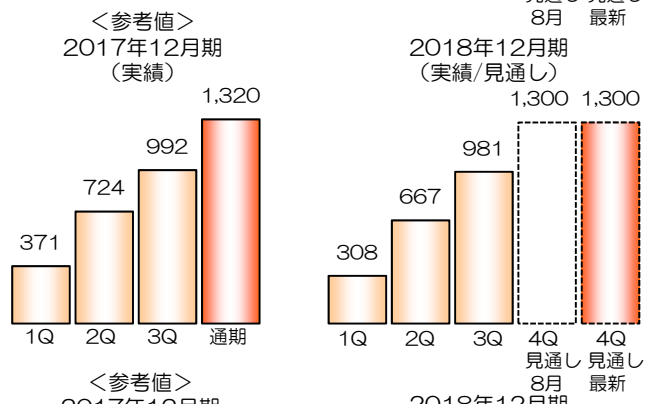
受注高



【受注高・売上高】

- ✓ 半導体市場の設備投資はメモリが牽引し引続き堅調
- ✓ 事業毎には顧客投資動向に応じて計画を修正

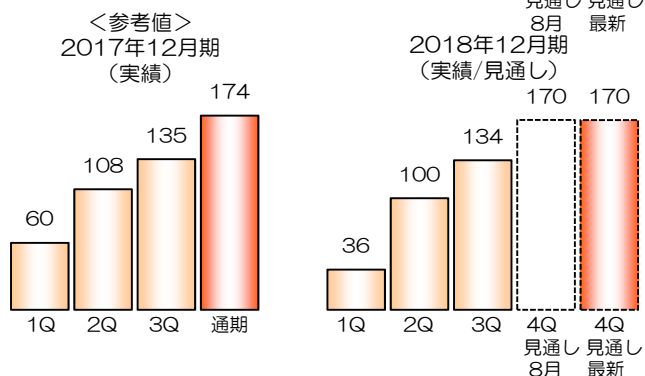
売上高



【営業利益】

- ✓ 前期からの研究開発費の期ずれもあり固定費は増加の見込み
- ✓ 顧客での評価を含む開発案件は期末に集中

営業利益



事業別 受注高の内訳



受注高

	通 期					第3四半期		
	〈参考値〉 2017年 12月期 実績	2018年 12月期			増減	〈参考値〉 2017年 12月期 実績	2018年 12月期 実績	増減
		見通し(8月)	見通し(最新)	増減				
風水力事業								
ポンプ	1,742	1,780	1,730	△ 50	△ 12	1,324	1,261	△ 63
コンプレッサ・タービン	833	950	1,050	+ 100	+ 216	555	777	+ 221
冷熱	345	370	370	-	+ 24	269	293	+ 23
その他	167	140	140	-	△ 27	117	110	△ 7
風水力事業 計	3,089	3,240	3,290	+ 50	+ 200	2,268	2,442	+ 173
環境プラント事業								
環境プラント	651	900	1,000	+ 100	+ 348	498	933	+ 434
環境プラント事業 計	651	900	1,000	+ 100	+ 348	498	933	+ 434
精密・電子事業								
コンポーネント	598	640	630	△ 10	+ 31	446	458	+ 12
CMP装置	627	710	710	-	+ 82	440	543	+ 102
その他	77	50	60	+ 10	△ 17	56	41	△ 14
精密・電子事業 計	1,303	1,400	1,400	-	+ 96	943	1,043	+ 100
その他	16	10	20	+ 10	+ 3	12	12	+ 0
その他 計	16	10	20	+ 10	+ 3	12	12	+ 0
合計	5,060	5,550	5,710	+ 160	+ 649	3,722	4,431	+ 709

※第1四半期連結会計期間より、従来「ポンプ事業」に含めていたクライオポンプ（LNG（液化天然ガス）移送用ポンプ）事業を、「コンプレッサ・タービン事業」に含めています。また、前年度同一期間の受注高及び売上高についても、変更後の区分に組替えています。

《補足資料》



事業別 売上高の内訳

売上高

	通 期					第3四半期		
	〈参考値〉 2017年 12月期 実績	2018年 12月期			増減	〈参考値〉 2017年 12月期 実績	2018年 12月期 実績	増減
		見通し(8月)	見通し(最新)	増減				
風水力事業								
ポンプ	1,685	1,780	1,730	△ 50	+ 44	1,247	1,285	+ 38
コンプレッサ・タービン	838	850	920	+ 70	+ 81	572	628	+ 55
冷熱	358	370	370	-	+ 11	238	240	+ 2
その他	159	140	140	-	△ 19	117	95	△ 21
風水力事業 計	3,041	3,140	3,160	+ 20	+ 118	2,175	2,250	+ 75
環境プラント事業								
環境プラント	699	600	600	-	△ 99	499	435	△ 63
環境プラント事業 計	699	600	600	-	△ 99	499	435	△ 63
精密・電子事業								
コンポーネント	570	580	580	-	+ 9	420	447	+ 27
CMP装置	685	670	660	△ 10	△ 25	525	486	△ 38
その他	64	50	60	+ 10	△ 4	46	47	+ 0
精密・電子事業 計	1,320	1,300	1,300	-	△ 20	992	981	△ 10
その他	16	10	20	+ 10	+ 3	12	12	+ 0
その他 計	16	10	20	+ 10	+ 3	12	12	+ 0
合計	5,078	5,050	5,080	+ 30	+ 1	3,679	3,680	+ 0

※第1四半期連結会計期間より、従来「ポンプ事業」に含めていたクライオポンプ（LNG（液化天然ガス）移送用ポンプ）事業を、「コンプレッサ・タービン事業」に含めています。また、前年度同一期間の受注高及び売上高についても、変更後の区分に組替えています。

- 資本効率の向上を目的として50億円/2百万株を上限に自己株式を取得予定

【取得に係る事項の内容】

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	2,000,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.97%）
株式の取得価額の総額	50億円（上限）
取得期間	平成30年11月14日～平成30年12月20日

E-Plan2019期間におけるROIC向上に向けた取り組み

売上高営業利益率の改善

運転資本効率の向上

資本効率の向上

- 機動的な自己株式の取得

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定、を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。